

2026年3月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『防衛産業における製造基盤投資と 新たなサプライチェーンの強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

欧州では、6月のNATO首脳会議で合意された防衛費GDP5%に因應するため、防衛産業による製造基盤投資や新たなサプライチェーンの構築が活発化しています。欧州を超えてインド太平洋地域へも引き合いが増えています。日本の防衛産業との協力の機運も高まっています。航空機分野では日英伊の次期戦闘機開発（GCAP）協力も進んでいます。

こうした状況を踏まえ、今回は、防衛産業における製造基盤投資と新たなサプライチェーンの強靱化調査団をGCAP協力国である英国及びイタリアに派遣し、情報収集及び意見交換を図ることを目的としております。

ご参加頂ける場合は、以下のデータを一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail
(gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送りください。すぐに事務局よりご連絡申し上げます。
尚、お申し込み締切は、**2026年4月10日（金）**と致します。

1. 参加申込書（本案内最終ページ。エクセルデータで提出されたい方はお申し出ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
 1. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。パスポートは帰国日より90日以上残存有効期間のあるもの）
4. メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

皆様のご参加をお待ちしております。

防衛産業における製造基盤投資と
新たなサプライチェーンの強靱化調査団
団長：石川 武
前 防衛装備庁 長官

【調査団が注目すべきポイント】

- ・製造業基盤投資の方向性：新工場建設、設備更新、人材育成。
- ・サプライチェーン強靱化： 欧州内の多国間調達体制、インド太平洋地域との連携。
- ・日本との協力余地： 電子機器、センサー、材料分野での共同開発や部品供給。
- ・国際共同開発の課題： 費用分担、技術移転、第三国参画の可能性。



一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.wkx21c.org>

『防衛産業における製造基盤投資と 新たなサプライチェーンの構築調査団』

1. テーマ：『防衛産業における製造基盤投資と新たなサプライチェーンの構築調査団』
2. 期間：2026年6月7日（日）～6月14日（日）（8日間）
3. 主催：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援：公益財団法人 防衛基盤整備協会
一般財団法人 防衛技術協会
5. 団長：前防衛装備庁長官 石川 武 氏

石川 武 氏 経歴

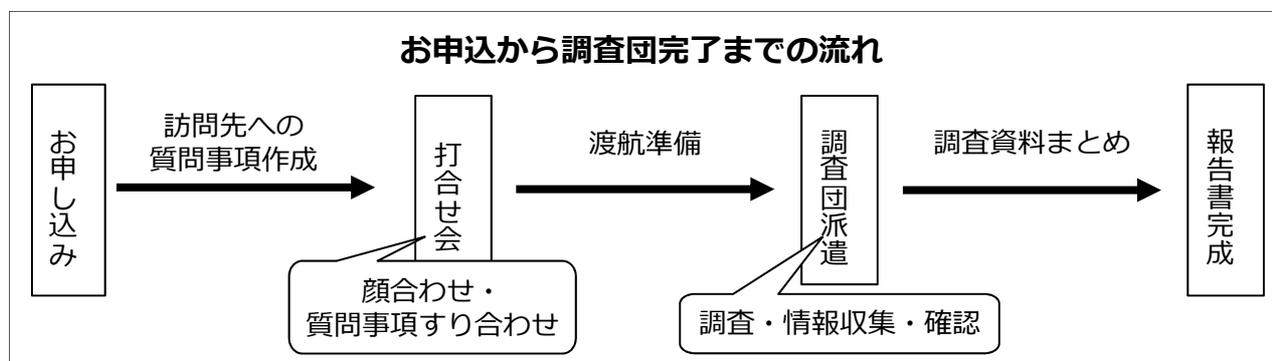
- 1988年3月：東京大学経済学部卒業
- 4月：防衛庁入庁（経理局会計課）
- 1995年6月：調達実施本部有償援助調達専門官（在ワシントンDC）
- 1997年7月：防衛局計画課
- 1999年12月：装備局管理課
- 2001年1月：防衛局防衛政策課
- 2002年8月：防衛局調査課
- 2004年8月：長官官房秘書課
- 2005年7月：外務省在英日本国大使館参事官（在ロンドン）
- 2008年8月：防衛省大臣官房参事官
- 2009年8月：防衛政策局国際政策課長
- 2011年8月：防衛政策局調査課長
- 2013年7月：人事教育局厚生課長
- 2014年7月：防衛政策局防衛政策課長
- 2015年10月：内閣府国際平和協力本部事務局次長
- 2017年8月：防衛装備庁プロジェクト管理部長
- 2018年8月：防衛政策局次長
- 2020年8月：大臣官房報道官
- 2022年7月：大臣官房政策立案総括審議官
- 2023年7月：防衛研究所長
- 2024年7月：防衛装備庁長官
- 2025年8月：退官



『防衛産業における製造基盤投資と新たなサプライチェーンの構築調査団』

-参加要項-

- 1. 募集人員**：10名
- 2. 参加費**：¥ 1,850,000-（税別 お申込金50万円（消費税別）を含む）
※日程その他に変更が生じた場合には、参加要項などに変更がありますことを予めご了承ください。
- 3. ホテル**：一人部屋
- 4. 通訳・プロジェクトマネージャー**：現地同行
- 5. 総合事務局**：株式会社アジア技術移転機構
東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950
- 6. 運営実施**：観光庁長官登録旅行業者
- 7. 申込方法及び申込締切**：添付の参加申込書に必要事項をご記入の上、以下のものをご送付ください
 - ・参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
 - ・名刺のコピー（和文・英文共）
 - ・記入済み参加申込書
 - ・顔写真データ以上を、**2026年4月10日（金）までに**、E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp)宛お送り下さい。担当者よりご連絡申し上げます。
※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。
※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。
- 8. 代金支払**：一般社団法人日本技術者連盟の総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。
期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『防衛産業における製造基盤投資と新たなサプライチェーンの強靱化調査団』
日程表

2026年6月7日（日）～6月14日（日） 8日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	6/7 (日)	羽田発 ロンドン着	JL 41	00:20 06:25	羽田国際空港 出発 ロンドン・ヒースロー空港到着 ロンドン泊	機内食 昼 ○ 夜 ○
2	6/8 (月)	ロンドン	地上交通		●GCAP政府間機関[GIGO、本部（ロンドン郊外）] ●合弁会社 Edgewing（英国設立） ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
3	6/9 (火)	ロンドン	地上交通		●BAEシステムズ（ランカシャー州） ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
4	6/10 (水)	ロンドン ローマ	BA560	16:20 20:05	●UK Defence Innovation (UKDI) ロンドン・ヒースロー空港発 ローマ フィウミチーノ空港着 ローマ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
5	6/11 (木)	ローマ	地上交通		●レオナルド (Leonardo S.p.A) ●ELT Group (エレットロニカ) ローマ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
6	6/12 (金)	ローマ	地上交通		● AIAD (イタリア防衛産業連盟) ローマ泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
7	6/13 (土)	ローマ ロンドン	JL7874 JL 44	15:20 16:55 19:20	自由研修 ローマ空港 出発 ロンドン・ヒースロー空港着 ロンドン・ヒースロー空港発	朝 ○ 昼 ○ 機内食
8	6/14 (日)	羽田着		17:20	羽田国際空港 到着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

JL:日本航空 BA:ブリティッシュエアウエイズ

予定訪問先及び概要：

訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

GB 英国の訪問先

- **GCAP政府間機関【GIGO、本部:レディング(ロンドン郊外)】**
 - 概要:GCAPを一元的に管理・運営する国際組織。
 - 日本との関係:初代首席行政官は日本から派遣されている。
 - 調査すべき点:国際共同開発の意思決定プロセス、サプライチェーン調整の仕組み。
- **合併会社 Edgewing(英国設立)**
 - 概要:日英伊の産業パートナーによるGCAP合併会社。設計・開発を担当。
 - 日本との関係:JAIECが出資、三国間産業協力の象徴。
 - 調査すべき点:企業間の役割分担、長期ライフサイクル支援体制、欧州とアジアの サプライチェーン連携。
- **BAEシステムズ(ランカシャー州)**
 - 概要:英国最大の防衛企業。GCAPの設計・開発を主導。
 - 日本との関係:JAIECや三菱電機と共同でGCAP Electronics Evolutionを推進。
 - 調査すべき点:製造基盤投資計画、サプライチェーン強化策、日英共同開発の成果 と課題。
- **UK Defence Innovation(UKDI)**
 - 英国政府系の防衛イノベーション機関。AI・自律システム投資を推進。
 - 調査すべき点:新技術投資、スタートアップ連携。

IT イタリアの訪問先

- **レオナルド(Leonardo S.p.A、本社ローマ)**
 - 概要:イタリア最大の防衛企業。航空機・電子機器分野でGCAPをリード。
 - 日本との関係:JAIEC・BAEと合併会社設立に参画。
 - 調査すべき点:製造基盤の拡張計画、電子機器・センサー分野での協力可能性。
- **ELT Group(エレクトロニカ、本社ローマ)**
 - 概要:電子戦システムの専門企業。GCAP Electronics Evolutionに参画。
 - 日本との関係:三菱電機と共同でミッションアビオニクス開発を推進。
 - 調査すべき点:電子戦技術の共同開発体制、サプライチェーンの国際分担。
- **AIAD(イタリア防衛産業連盟)**
 - イタリア防衛産業の業界団体。政府・企業間調整を担う。
 - 調査すべき点:産業政策、サプライチェーン強靱化。

:英国では BAEシステムズ・GIGO・Edgewing、イタリアでは レオナルド・ELT Group を訪問して製造基盤投資とサプライチェーン強靱化の実態を調査する。これにより、日本の防衛が 欧州との協力を深化させ、インド太平洋地域への展開にも備えることができる。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

その他

- ◆ 参加費は、2025年12月18日時点の運賃の10名の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、前芝浦工業大学学長、工学博士
顧問	野々内 隆 斎藤 信男 松井 一秋	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『防衛産業における製造基盤投資と新たなサプライチェーンの強靱化調査団』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（J E F）行

会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
ご住所 〒 -			
電話番号		FAX番号	
ご住所 〒 -			
電話番号			
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について 今回の旅行に必要な旅券を お持ちですか。 (日本帰国日より3ヵ月以上の 残存期間が必要)			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日	2025 年 月 日 (月 日までに必ず取得してください)	
強いアレルギーなど ございますか			
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください (例 JAL 1234567、ANA 2345678 他)		

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手にするために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にて受け付けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950
FAX : 03-6229-1940

JEF ベストプラクティス視察団／調査団派遣理念

－ 世界の最良の現場に学ぶ－

◆理念

「越境」とは、今いる場所を一步外に出て、新しい知見や価値観を学ぶことです。

JEF ツアーは、海外の最前線を実際に訪れ、現地での一次情報、現場の空気、人との交流を通じて学びを深め、参加企業の経営革新と人材の創造的発展につなげることを目的としています。

◆意義

日本人は古くから「越境」によって成長してきました。

遣唐使・遣隋使に始まり、明治維新の欧米使節団、そして戦後の経営・技術視察団まで、外から学び、それを自国の発展に生かしてきた歴史があります。

この「外に出て学び、持ち帰り、実践する」という好循環こそ、企業再生の原動力であり、現代における“越境”の真の意義です。

◆越境のプロセス

1. 越境の意識を持ち、外に出る
 2. 未知との出会いを通じて学び・成長する
 3. 得た学びを持ち帰り、組織や企業内ネットワークに還元する
- この一連のサイクルが、個人と組織のイノベーションを生み出す原動力となります。

◆越境が求められる理由

【個人にとって】

- ・働き方改革により多様な価値観と接する機会が増加
- ・人生100年時代への対応
- ・働き方の変化によるロールモデルの喪失

【組織にとって】

- ・持続的成長を支えるイノベーション人材の育成
- ・社会的責任（CSR・ESG）の強化
- ・組織と個人の関係性の再構築

◆生成AI時代における越境の価値

生成AIは便利なツールである一方、私たちの「現場で学ぶ力」や「一次情報に触れる機会」を奪う危険もあります。

AIには“現場”“現物”“現実”が存在しません。だからこそ、人との信頼関係を築き、現場で学び、実体験から思考する越境の学びが、これからの時代にますます重要になります。

◆期待されるJEF ツアーの効果

- ・世界で得た一次情報・実体験・海外人脈に基づく提言・報告・イノベーション創出
- ・新たなネットワークの形成と国際協働の促進
- ・自社の技術・経営・人材育成への直接的な還元



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>